

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 86

東北森林管理局

取組名	森林病虫害等防除由利地域連絡協議会（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 由利地域振興局会議室（連絡調整会議） 平成23年5月27日（金）</li> <li>・ 由利地域振興局会議室（連絡協議会） 平成23年11月7日（月）</li> </ul>
取組の背景及び必要性	松くい虫、ナラ枯れが発生していることから、森林病虫害防除を推進することにより被害の拡大を防止し、森林資源の保護、自然環境の保全を図る。
取組の内容	流域内の松くい虫被害に対し、適期に徹底した薬剤散布を実施するため、連絡調整会議を開催し、民・国連携した防除体制を確立。また、ナラ枯れに対する監視体制を強化するため、民・国一体となったパトロール計画を設定するとともに、効果的、効率的な防除対策を講じるため、ワーキンググループを開催し「ナラ枯れ防除実施方針」について検討を深めた。
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （パトロール・予防・防除）
連携協働相手先・役割	秋田県・由利本荘市、にかほ市・本荘由利森林組合・JR 東日本 （パトロール・予防・防除）
取組の結果、反響、今後の課題等	森林病虫害防除対策の必要性や国有林の対策について理解が得られたほか、民・国一体となった防除が出来た。松くい虫被害は減少傾向にあるものの、平成23年度以降についても地域住民の理解と協力を得ながら予防・防除を推進するとともに、ナラ枯れについては監視パトロールを強化し、ナラ枯れ防除方針に基づき適切な防除対策を実施する必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR：由利地域連絡協議会等で取り組み状況を説明。報道機関及び市広報誌等へ情報提供。隣接町内会等へのチラシ配布。</p> <p>効果：国有林が進める森林病虫害対策に地域住民の理解と協力が得られる。</p>

【参考資料】

取 組 名 森林病虫害等防除由利地域連絡協議会

○薬剤の地上散布（松くい虫）



○薬剤の地上散布（松くい虫）



○伐倒くん蒸処理（ナラ枯れ）



○伐倒くん蒸処理（ナラ枯れ）



○薬剤処理（ナラ枯れ）



○連絡調整会議



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 87

東北森林管理局

取組名	低コスト木材生産技術現地検討会（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	・秋田県由利本荘市谷地沢 平成23年11月25日（金）
取組の背景及び必要性	森林・林業再生プランに基づく森林整備の促進については、民有林・国有林が連携して取り組むことが重要であり、そのために「森林施業共同団地」の設定による施業の集約化を図ることが大きな課題となっている。
取組の内容	県や地元自治体、子吉川流域林業活性化センター、森林組合、森林農地整備センターから16名が参加し、森林共同施業団地の推進をテーマに、国有林と市有林、水源林造成地（森林農地整備センター）が隣接する谷地沢において開催。
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （企画・進行・資料準備等）
連携協働相手先・役割	秋田県由利地域振興局、子吉川流域林業活性化センター、由利本荘市、にかほ市、本荘由利森林組合、森林農地整備センター（施業予定箇所の情報提供等）
取組の結果、反響、今後の課題等	それぞれの森林所有者から森林概況や今後の整備計画などについて説明を受け、森林共同施業団地の可能性について意見交換を行い、民国一体の路網整備が設定メリットとして大きな部分を占めていることから、関係者が事前に情報交換して取り組むことを確認。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：各種会議を通じ周知。プレスリリース。ホームページ掲載。 効果：民国連携による施業の効率化とともに、森林整備の計画的実施が図られる。

【参考資料】

取 組 名 低コスト木材生産技術現地検討会

○主催者挨拶（由利森林管理署長）



○森林概況説明（由利本荘市）



○森林概況説明（森林農地整備センター）



○意見交換（現地）



○意見交換（現地）



○意見交換（由利森林管理署）



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 88

東北森林管理局

取組名	一般市民を対象とした森林環境教育（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県由利本荘市「桑ノ木台湿原」 平成23年6月7日（火）</li> <li>・秋田県由利本荘市「法体の滝」 平成23年10月6日（木）</li> </ul>
取組の背景及び必要性	一般市民が森林・林業、自然環境に関心がありニーズが高い
取組の内容	<p>一般市民を対象に新聞等で参加者を募集し、春と秋の2回実施。</p> <p><b>【春】</b> 新緑の桑ノ木台湿原散策ツアー 桑ノ木台湿原（レク森）、鳥海ブナ林施業公園、竜ヶ原湿原の散策 36名参加</p> <p><b>【秋】</b> 鳥海山自然休養林森林浴ツアー 法体の滝（特定地理等保護林）、竜ヶ原湿原、鳥海ブナ林施業公園 24名</p>
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （企画・募集・案内・資料準備）
連携協働相手先・役割	
取組の結果、反響、今後の課題等	事前の問い合わせを含め申込者が定員を上回る人気となっている。参加者からは「森林管理署が豊かな自然を守っていることを感じる事が出来た」との感想が寄せられている。一般市民が森林・林業、自然環境に関心がありニーズが高いことから引き続き取り組んでいく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	<p>PR：プレスリリース</p> <p>効果：募集記事掲載等により、多くの国民に森林・林業、国有林野事業への理解が図られる。</p>

【参考資料】

取 組 名 一般市民を対象とした森林環境教育（継続）

○新聞報道（秋田魁 H23.5.20）

**湿原散策コース巡ろう**

由利森林管理署は、6月7日に行う桑ノ木台湿原（由利本荘市）などの自然探勝地を巡る散策ツアーの参加者を募集している。植生保護のため同湿原で整備が進められている木道のコースを歩く初のツアーとなる。

鳥海国定公園にある同湿原は入山者の踏み跡により貴重なコケなどが傷み、同管理署などが過去2年間、入山者へ立ち入り自粛を求

める一方、植生に極力影響を与えない湿原の利活用を検討し、木道を含む探勝ル

由利本荘市「桑ノ木台」ツアー参加者募集  
来月7日、森林管理署

イトを定めた。  
ツアーは湿原に群生するレンゲツツジやワタスゲなどが見頃を迎える時季に合わせて実施。当日は、午前8時にJR羽後本荘駅か同

管理署に集合。バスで移動し、同湿原や鶯川アノ展示林、ミスバショウやマンサクが咲く竜ヶ原湿原を散策する。同署の職員5人が案内する。

定員25人（申し込み順）。参加料（保険料、記念写真代含む）は中学生以下千円、高校生以上2500円。昼食や雨具は各自持参。

問い合わせ、申し込み（平日開庁時間帯のみ）は同管理署 ☎0184・22・1076

○春ツアー（桑ノ木台湿原）



○春ツアー（竜ヶ原湿原）



○秋ツアー（法体の滝溪谷）



○秋ツアー（竜ヶ原湿原周回コース）



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 89

東北森林管理局

取組名	小中学生のための森林環境教育（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県由利本荘市水林国有林「遊々の森」 平成23年9月29日（木）</li> <li>・秋田県由利本荘市水林国有林 平成23年10月27日（木）</li> </ul>
取組の背景及び必要性	学校からのニーズ、要望が高いことから小中学生のための森林環境教育を推進し、次代を担う子どもたちへ森林の大切さを理解してもらう。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県由利本荘市立鶴舞小学校5年生（63名） 「遊々の森」でドングリの実を使用した保育ブロック・ウッドガードによる試験植栽の体験と自然観察を実施。</li> <li>・秋田県由利本荘市立亀田小学校5年生（7名） 「森林づくりの集い」に参加し、松くい虫被害箇所の海岸林にクロマツを植栽。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （講師・案内・資料準備・植樹指導）
連携協働相手先・役割	由利本荘市教育委員会、関係小学校、秋田林業土木協会、森林ボランティア団体 （事前教育・引率・教材準備・植樹指導）
取組の結果、反響、今後の課題等	自然観察や植樹体験を行い、森林の大切さと役割、松くい虫被害対策、国有林の果たしている役割等について学習。教育委員会、学校・生徒の反響も大きく、継続した開催の要望が強いことから、今後とも森林環境教育の充実に努める必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プレスリリース、学校を通じた保護者へのPR 効果：国有林の取り組みへの評価が高まり、森林や国有林の果たしている役割等について理解の増進が図られる。

【参考資料】

取 組 名 小中学生のための森林環境教育（継続）

○鶴舞小学校（ドングリの実植栽）



○鶴舞小学校（植樹指導）



○鶴舞小学校（万華鏡による自然観察）



○鶴舞小学校（記念写真）



○亀田小学校（クロマツ植樹）



○亀田小学校（クロマツ植樹）





## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 90

東北森林管理局

取組名	ボランティアと連携した松くい虫被害林の再生（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	・秋田県由利本荘市水林国有林 平成23年10月27日（木）
取組の背景及び必要性	水林地区の海岸林は、松くい虫被害が著しく、森林再生による公益的機能の増進が地域から求められている。このためボランティア団体等と連携し地域と一体となった再生活動を実施。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 森林ボランティア団体等と連携し、地元小学校や福祉団体、一般市民の参加による植樹会を実施し、これまでクロマツや広葉樹（郷土樹種）4,100本を植栽し、延べ684名が参加している。なお、平成20年度からは名称を「森林づくりの集い」として開催。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 由利本荘市及び森林ボランティア3団体と共催し、市立亀田小学校5年生や一般市民等85名の参加により、クロマツ1,900本の植樹を実施。</p>
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （企画・準備・進行・指導・資料準備）
連携協働相手先・役割	由利本荘市、岩谷小学校、森林ボランティア団体 （事前学習・引率・準備・指導）
取組の結果、反響、今後の課題等	プレスリリースを積極的に行った結果、秋田魁新聞、読売新聞で報道されるなど反響も大きく、継続した取り組みの要望が強い。今後も森林ボランティア団体等と連携を図り、松くい虫被害森林の再生が市民活動となるよう積極的な働きかけを行う。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プレスリリース、由利本荘市広報への情報提供 効果：森林・林業の果たしている役割、国有林野役割等について理解の増進が図られ、地域と一体となった活動が展開できる。

【参考資料】

取 組 名 ボランティアと連携した松くい虫被害林の再生（拡充）

○新聞報道（秋田魁 H23.10.28（金））

集いは、松くい虫被害に遭ったクロマツ林の再生を目指して毎年実施。須藤文雄署長が「松くい虫被害で沿岸防備林の役割を果たせない状況にあり、一日も早く再生させるのが役目。思いを込めて植えてほしい」とあいさつした後、参加者は署員に助言されながら計0・38畝の砂地にスコップで苗木を植え、根元をしっかり踏み固めた。同小5年の永澤魁君（11）は「植樹は将来の自分たちの古里を守ることにつながる。しっかり育ててほしい」と話した。（土田絵美子）



〇クロマツ苗木を植樹 由利森林管理署の「森林（もり）づくりの集い」が27日、由利本荘市の水林国有林で開かれ、同市の亀田小学校児童や市民ら約90人が、クロマツの苗1900本を植樹した。写真。

○クロマツ植樹



○クロマツ植樹



○記念標柱埋設



○参加者記念写真撮影



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 91

東北森林管理局

取組名	国有林材の利用促進並びにPR（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県由利本荘市木材流通センター 平成23年10月16日（日）</li> <li>・秋田県由利本荘市格技場外 平成23年10月29日（土）～30日（日）</li> </ul>
取組の背景及び必要性	木工品の展示・販売により国有林材の利用促進をPRするとともに、写真パネルの展示コーナーを併設し国民の森林をPRする。
取組の内容	「本荘由利森林組合まつり」、「由利本荘市米まつり」に職員手づくりの木工品の展示販売や、松くい虫被害森林の再生活動や緑の回廊・森林環境教育活動等の写真パネルを展示し、国民の森林をPR。
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （木工品展示販売・写真パネル展示案内）
連携協働相手先・役割	本荘由利森林組合、由利本荘市 （企画・準備・進行等）
取組の結果、反響、今後の課題等	入場者から森林の再生や森林環境教育、木材利用の推進等の取り組みに対して激励を頂くなど、国有林に対する理解が深まっている。（入場者：森林組合まつり 600名・米まつり 1500名）
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：由利本荘市広報誌による行事案内 効果：国有林材の利用促進並びに国有林の取り組みに対する理解が深まった。

【参考資料】

取組名	国有林材の利用促進並びにPR
-----	----------------

○森林組合まつり（木工品展示販売）



○森林組合まつり（木工品展示販売）



○由利本荘市米まつり（パネル展示）



○由利本荘市米まつり（木工品展示販売）



○由利本荘市米まつり（開会セレモニー）



○由利本荘市米まつり（開会セレモニー）



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 92

東北森林管理局

取組名	ボランティアによる森林づくり支援（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 由利本荘市水林国有林 平成23年7月10日（日）</li> <li>・ 由利本荘市田尻国有林 平成23年8月9日（火）</li> </ul>
取組の背景及び必要性	水林地区海岸林は松くい虫被害が著しく、ボランティアの森林再生活動への関心が高いことから、フィールドの提供と技術指導の支援を行い、地域と一体となった森林整備を進める。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】</p> <p>平成17年度に設立された森林ボランティア団体（水林海岸防備林を松くい虫被害から再生する会（以下、「再生する会」）による、クロマツの植樹や下刈り作業等の活動を支援。なお、「再生する会」は6年間の活動により被害箇所の植樹がほぼ完了したとして、平成21年度の活動を最後に会を解散し、新たに「本荘海岸林を守る会」が結成（平成22年度）され、引き続き連携を確認。</p> <p>【平成23年度の取組内容】</p> <p>「本荘海岸林を守る会」によるクロマツ植樹箇所の下刈り作業（0.34ha）及び由利森林管理署と共催して海岸林のクリーンアップを実施。</p>
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （フィールドの提供、技術安全指導）
連携協働相手先・役割	本荘海岸林を守る会 （役務の提供）
取組の結果、反響、今後の課題等	森林ボランティア団体の活動が、新聞等で報道されることにより、ボランティア団体の活動意欲が高まる。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プレスリリース、由利本荘市広報への情報提供 効果：地域住民に国有林の取り組みが理解され、評価が高まった。

【参考資料】

取組名 ボランティアによる森林づくり支援（継続）

○森林づくり活動（下刈作業）



○森林づくり活動（下刈作業）



○森林づくり活動（参加者記念撮影）



○森林づくり活動（道具の手入れ）



○クリーンアップ活動



○クリーンアップ活動



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 93

東北森林管理局

取組名	高校生のための森林環境教育（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県由利本荘市水林国有林 平成23年4月27日（水）A組</li> <li>平成23年5月17日（水）B組</li> <li>・秋田県にかほ市中島台レク森 平成23年10月17日（月）</li> </ul>
取組の背景及び必要性	矢島高校の総合学習（「地域の自然理解と体験学習」）を支援し、国民の森林としての理解の醸成を図る。
取組の内容	<p><b>【森林教室】</b> 1年生81名を対象にA組とB組の2回に分けて、松くい虫被害箇所に実生更新したクロマツ林の本数調整伐を体験。なお、平成23年11月12日に行われた理科学研究発表会において、森林教室の取り組みを「海岸林再生プロジェクト」として報告し、斎藤憲三賞を受賞。</p> <p><b>【自然観察と森林浴】</b> 1年生81名を対象に、鳥海自然休養林にある「獅子ヶ鼻湿原」の自然観察と森林浴を実施。</p>
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （企画・案内・指導・資料準備）
連携協働相手先・役割	秋田県立矢島高校 （事前教育・引率）
取組の結果、反響、今後の課題等	体験林業と自然観察に参加しての感想として、「自然に生えてきたマツも手を加えないと立派な松林にならないことがわかった」「地域にこんなに素晴らしい自然景観があることに感動した」との声が寄せられた。学校からは継続したプログラムの実施について要望があり、次年度以降も更に内容を充実して取り組む必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プレスリリース 効果：国有林の取り組みへの評価が高まるほか、森林の果たしている役割、国有林の役割等について体験学習を通じて理解の増進が図られる。

【 参 考 資 料 】

取 組 名 高校生のための森林環境教育

○新聞報道（秋田魁 H22.4.29）

**県央**

矢島高1年生 密生地での除伐体験

由利本庄市の矢島高校（澤 井康孝校長）の1年生41人が「伐作業の手順を説明。5班に分かれた生徒たちは、早速の除伐作業に臨んだ。東北森林管理 局由利森林管理署の職員が指導を受け、雨の中、密生したクロマツの除伐に取り組んだ。

総合的な学習の一環として、1年生2クラスを同日と5月11日に分けて実施。27日は国道7号沿いの海岸林で行った。同署職員が、海岸林は防砂、防風のほか、津波被害や塩害を防ぐ重要な役割がある。

「密生した黒松（クロマツ）は、5メートル以上の間に一定の空間をつくらなければならない。クロマツの木がしっかりと育つことで、自分たちの暮らす地域を守れるんだ」と実感したと話していた。

同校は同署の協力を得て、2001年から自然観察や体験林業を実施している。（土田松美子）

男鹿支局 0185-23-5555  
女鹿支局 0185-23-5555  
南秋田支局 018-898-1840  
秋田支局 018-823-2080  
本荘支局 0184-24-3154

一帯には適正密度（1畝当たり5千〜1万本の20倍以上のクロマツが自生。適正密度に近づけて木の生育を促すとともに松くい虫被害を防ぐため、生徒たちは高さ1.5メートルのクロマツを根元から切り、木々の間に一定の空間をつくらせた。

参加した黒松（クロマツ）は「クロマツの木がしっかりと育つことで、自分たちの暮らす地域を守れるんだ」と実感したと話していた。

同校は同署の協力を得て、2001年から自然観察や体験林業を実施している。（土田松美子）

クロマツの除伐作業に取り組む生徒ら

○森林教室（天然生クロマツ林整備）



○森林教室（天然生クロマツ林整備）



○自然観察と森林浴（鳥海自然休養林）



○森林教室（座学）





## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 94

東北森林管理局

取組名	「遊々の森」活用による森林環境教育（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	・秋田県由利本荘市水林国有林【遊々の森】 平成23年9月29日（木）
取組の背景及び必要性	平成17年11月に由利本荘市教育委員会と締結した「遊々の森」において、自然体験学習を推進。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成17年度以降、市立鶴舞小学校5・6年生を対象にケヤキなどの郷土樹種1,850本の記念植樹と万華鏡などを活用した自然観察会を実施し、これまで663名の生徒が参加。</p> <p>【平成23年度の取組内容】 市立鶴舞小学校5年生63名を対象に、ドングリの実を保育ブロック・ウッドガードを使用してミズナラ等280本の植樹と万華鏡を使った自然観察会（紅葉の不思議）を実施。</p>
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （企画・準備・指導・資料準備）
連携協働相手先・役割	由利本荘市教育委員会、鶴舞小学校 （事前教育・引率）
取組の結果、反響、今後の課題等	平成17年度から取り組まれている「遊々の森」活動が評価されて、「平成23年度・森林からの感謝状」が東北森林管理局長より授与された（H24.2.29）。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プレスリリース、由利本荘市広報へ情報提供 効果：国有林の評価が高まるほか、森林の果たしている役割や国有林の役割等について体験学習を通じて理解の増進が図られる。

【参考資料】

取 組 名 「遊々の森」活用による森林環境教育

○植樹指導



○植樹体験



○植樹体験



○記念標柱設置



○万華鏡で自然観察



○記念写真



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 95

東北森林管理局

取組名	企業と連携した松くい虫被害林の再生（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	・秋田県由利本荘市水林国有林 平成23年7月13日（水）
取組の背景及び必要性	水林地区海岸林は、松くい虫被害が著しく、森林再生に対する企業等の関心も高い。このため企業と連携した森林再生活動を推進する。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成19年に「JA秋田しんせい合併10周年事業」として行ったクロマツ植樹箇所の保育作業（下刈）を実施。</p> <p>【平成23年度取組内容】 4年目となる下刈りをJA秋田しんせい職員8名が機械と人力により実施。</p>
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （技術安全指導）
連携協働相手先・役割	JA秋田しんせい （役務等提供）
取組の結果、反響、今後の課題等	松くい虫被害箇所を国有林がフィールドとして提供し、連携相手側が植樹から保育（下刈）完了までの期間、森林の再生に携わる意義は大きく、今後より一層連携を強めていく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	効果：企業等と連携した森林整備を進め、森林の大切さと公益的機能の啓発及び森林・林業、国有林野事業への国民の理解の増進が図られる。

【参考資料】

取 組 名 企業と連携した松くい虫被害林の再生

○下刈り作業



○下刈り作業



○下刈り作業完了



○下刈り作業完了



○下刈り作業完了



○植樹祭記念看板



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 96

東北森林管理局

取組名	松林健全化ボランティア作業の支援（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県由利本荘市石脇字田尻海岸林 平成23年11月19日（土）</li> <li>・秋田県にかほ市金浦字下谷地海岸林 平成23年11月20日（土）</li> </ul>
取組の背景及び必要性	化石燃料等の普及により、松林内の落枝・落葉が薪などとして利用されなくなり、堆積した落葉等が林地を肥沃化させている。このため広葉樹が侵入成長し、松林は菌根菌が減少して生理的に脆弱化し、白砂青松の景観が失われる可能性がある。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成20年11月に秋田県由利地域振興局及び由利本荘市が主催し、松林内の侵入広葉樹の除去事業を実施した跡にボランティアによる表土掻き起こし作業を実施。平成21年度より由利森林管理署及びにかほ市が主催団体に加わる。</p> <p>【平成23年度取組内容】 由利本荘市及びにかほ市の海岸林において、森林ボランティア団体や一般市民と連携して、松林内の枯れ枝等の回収と表土掻き起こしを実施。</p>
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （準備・安全作業指導）
連携協働相手先・役割	由利地域振興局、由利本荘市、にかほ市 （企画・参加者募集・準備・安全作業指導）
取組の結果、反響、今後の課題等	国有林・民有林の関係行政機関が主催し、一般市民やボランティア団体と連携して健全な松林を目指す取り組みは、新聞等でもその効果が大きく報道されるとともに、松林に隣接する地域住民や市民から評価されていることから、引き続き、民・国が連携して取り組む必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プレスリリース、市広報誌への情報提供 効果：国有林と民有林を管轄する行政が連携して取り組むことへの評価が期待できる。

【参考資料】

取 組 名 松林健全化ボランティア作業の支援

○開会セレモニー



○開会セレモニー



○作業前の林床



○落ち葉掻き等作業



○落ち葉掻き等作業



○落ち葉等運搬



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 97

東北森林管理局

取組名	「あきぎんの森」協定に基づく森林再生（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	・秋田県由利本荘市水林国有林「あきぎんの森」 平成23年7月30日（土）
取組の背景及び必要性	平成21年7月13日に秋田銀行創業130周年事業の一環として、松くい虫被害を受けた水林国有林の再生を目的とした「森林ボランティアの森林づくり活動に関する協定書（愛称「あきぎんの森」）」が締結された（面積0.77ha）。なお、本協定は通達の改正により、「社会貢献の森」と名称変更し、平成23年5月31日に再協定（協定期間平成26年3月末まで）。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 秋田銀行及び関連会社の役職員とその家族約390名が参加して、全体面積0.77haのうち0.40haにクロマツ2,700本（うち、抵抗性マツ250本）を植栽。</p> <p>【平成23度の取組内容】 秋田銀行役職員等64名が参加し、協定区域内に植栽したクロマツ林の下刈り作業と区域内にある天然生クロマツ林の本数調整伐（0.19ha）を実施。</p>
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （準備・指導助言）
連携協働相手先・役割	秋田銀行 （企画・準備・進行・プレスリリース・物品役務提供）
取組の結果、反響、今後の課題等	森づくり活動に参加した社員から「環境に役立つ活動に携わることができいい経験になった」との声が寄せられるなど、毎年参加希望者が予定人数を大幅に上回る結果となっている。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プレスリリース 効果：企業による森林づくり活動を支援することにより、対象とする水林海岸林の飛砂防備など多面的な機能を発揮できる森林への再生ができる。

【参考資料】

取 組 名 「あきぎんの森」協定に基づく森林再生

○新聞報道（秋田魁 H23.8.6）



クロマツの幼木の生育を促すため、親子で下草刈りに取り組む参加者

森林づくりで植栽  
クロマツ成長願  
下草刈りなどに汗  
由利本荘市・あきぎんの森  
由利本荘市水林の国有林に  
ある「あきぎんの森」でこの  
ほど、秋田銀行の行員や家族  
ら約70人が、クロマツの成長  
を促す下草刈りなどを行っ  
た。過去2年の活動で植栽  
した苗木が育っていることを  
確かめつつ、作業に汗を流し  
た。

同行は「日本の森を守る地  
銀有志の会」の一員。200  
9年に東北森林管理局と森林  
づくり活動の協定を結び、松  
くい虫被害を受けた県立ゆり  
養護学校近くの松林の跡地の  
うち約58㍍に新たにクロマツ  
約2700本を植え、育てる  
取り組みを行っている。

佐々木忠夫専務が「生育を  
助けるためには手入れも重  
要。数十年後に立派な海岸林  
が再生することを祈りたい」  
とあいさつ。参加者は2班に  
分かれ、下草刈りのほか、若木  
が密生する天然林での除伐を  
実施。鎌や草刈りばさみ、の  
こぎりを手作業に励んだ。

仁賀保支店に勤務する母と  
共に参加した齋藤遥さん（8）  
「平沢小2年」は「太い雑草  
がなかなか切れなくて難し  
いけど、小さい松に日が当たる  
ようにしたい」と、懸命に草  
刈りばさみを動かしていた。  
（高野正巳）

○天然生クロマツ林整備



○クロマツ下刈り作業



○クロマツ下刈り作業



○参加者記念写真





## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 98

東北森林管理局

取組名	森林講座の実施（継続）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	・秋田県由利本荘市由利森林管理署会議室 平成23年8月23日（火）～9月6日（火）
取組の背景及び必要性	平成21年7月23日に国史跡「鳥海山」が指定されたことにより、地域のシンボルである鳥海山の歴史・文化・自然について知りたいとの要望が強いことから、関係団体等と連携し、一般市民を対象とした森林講座を開設。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「鳥海山の自然と文化」</li> <li>・カリキュラム（全5回） <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回（8/23）「鳥海山の四季」：本荘山の会</li> <li>第2回（8/25）「登山道矢島口の魅力」：矢島見どころ案内人の会</li> <li>第3回（8/30）「鳥海マタギ」：鳥海山岳会</li> <li>第4回（9/1）「鳥海山の華麗な花々」：鳥海山の会</li> <li>第5回（9/6）「桑ノ木台湿原」：由利森林管理署</li> </ul> </li> <li>・受講者延べ144名</li> </ul>
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （企画・募集・講師・進行・資料準備）
連携協働相手先・役割	NPO団体等 （講師・資料準備）
取組の結果、反響、今後の課題等	行政がひとつのテーマで一般住民と接触する機会を持つ取り組みが評価されている。また、国史跡「鳥海山」の大部分が国有林であり、鳥海山の貴重な自然環境を保全管理している国有林の役割について理解が深まった。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プレスリリース、道の駅等公共施設にチラシ備え付け 効果：一般市民からの受講希望者が確保できる。

【参考資料】

取組名 森林講座の開設

○募集チラシ

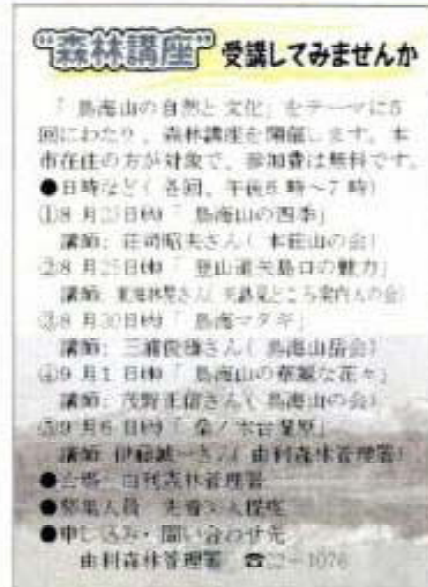


**森林講座**  
受講者募集！  
テーマ 鳥海山の自然と文化

- 主催 由利森林管理署
- 募集定員 30名程度(先着)
- 応募方法 由利森林管理署あてに電話・FAX・メールで申し込み  
TEL 0184-22-1076 FAX 0184-22-2274  
e-mail: solichijitau@rihyamaff.go.jp
- 場所・時間 由利森林管理署2階会議室 18:00～19:00
- 参加費 無料
- 募集締切り 平成23年8月19日(金)

回	実施日	テーマ	講師	所属
1	8月23日(火)	鳥海山の四季	社登 昭夫	本社山の会
2	8月25日(木)	登山道矢島口の魅力	東畑林 晃	矢島みどころ案内人の会
3	8月30日(火)	鳥海マタギ	三浦 敬雄	鳥海山岳会
4	9月1日(木)	鳥海山の華麗な花々	浅野 正信	鳥海山の会
5	9月6日(火)	薬ノ木台温泉	伊藤 誠一	由利森林管理署

○由利本荘市広報(平成23年8月1日号)



**「森林講座」受講してみませんか**

「鳥海山の自然と文化」をテーマに5回にわたり、森林講座を開催します。本市在住の方が対象で、参加費は無料です。

- 日時など(各回、午後5時～7時)
- ①8月23日(火)「鳥海山の四季」  
講師: 社登昭夫さん(本社山の会)
- ②8月25日(木)「登山道矢島口の魅力」  
講師: 東畑林晃さん(みどころ案内人の会)
- ③8月30日(火)「鳥海マタギ」  
講師: 三浦敬雄さん(鳥海山岳会)
- ④9月1日(木)「鳥海山の華麗な花々」  
講師: 浅野正信さん(鳥海山の会)
- ⑤9月6日(火)「薬ノ木台温泉」  
講師: 伊藤誠一さん(由利森林管理署)

- 会場: 由利森林管理署
- 参加人員: 先着30人程度
- 申し込み・問い合わせ先: 由利森林管理署 電話: 1076

○第1回講座(開講式)



○第2回講座(登山道矢島口の魅力)



○第3回講座(鳥海マタギ)



## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 99

東北森林管理局

取組名	森のようちえん（新規）
流域名	子吉川流域
森林管理署名	由利森林管理署
実施箇所及び実施日	・秋田県由利本荘市水林運動公園（国有林貸付地） 平成23年10月19日（水）
取組の背景及び必要性	幼児教育として取り組まれている「森のようちえん」は、「森での自然体験を通して、子どもをたくましく育てる」ことを目的としており、幼稚園・保育園関係者から森のプロ集団である国有林へ企画・実施の要望がある。
取組の内容	秋田県由利本荘市にある「若草幼稚園」の年長組（24名）を対象に、「森に遊び、森を知り、友だちを知る」をテーマとしたプログラムを作成し、「カモフラージュ」や「目かくしイモ虫」など、五感を使って森に親しむゲームを実施。
国有林担当部局・役割	由利森林管理署 （プログラムの作成と実施）
連携協働相手先・役割	学校法人鶴舞学園「若草幼稚園」 （園児引率・保護者との連絡、幼児教育研究会で実施報告）
取組の結果、反響、今後の課題等	園と保護者の連絡帳に、園児から家族へ「初めての体験と感動をうれしそうに話してくれた」との記載が多くあったことが報告されるとともに、継続した実施を強く要望されていることから、署スタッフのスキルアップを含めた実施体制を充実する必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プレスリリース及び幼児教育研究会での実践報告 効果：森のプロ集団としての国有林野事業に対する期待

【参考資料】

取 組 名 森のようちえん（新規）

「森のようちえん」  
**五感を使って  
 自然に親しむ**  
 本荘由利運動公園  
 子どもを身近な自然に親し  
 ませる「森のようちえん」が  
 19日、由利本荘市水林の本荘  
 由利総合運動公園で開かれ  
 た。同市の若草幼稚園（大城  
 敬子園長）の年長組園児24人

が五感を使うゲームを楽しん  
 だ。由利森林管理署が昨年  
 続き企画した。

園児は、遊歩道沿いに置か  
 れた作り物の果物や虫などを  
 探すゲームに挑戦し、緑の葉  
 に潜ませたカマキリを見つけ  
 るのにひと苦労。同署員から  
 保護色について教わり、虫の  
 生態に感心していた。

目隠しをした園児は、署員

男鹿支局 0185-23-2303  
 FAX 0185-23-2880  
 南秋田支局 018-888-1840  
 FAX 018-823-2080  
 本荘支局 0184-24-3124  
 FAX 0184-24-3124



アイスブレイク  
 （スタッフ自己紹介と決めのポーズ）

作り物の虫などを探すゲームに熱中する園児たち

に誘導されて林を散策し、樹  
 種によって異なる木肌の手触  
 りや落ち葉を踏んだ音などを  
 視覚以外の感覚で体感。キッ  
 トを使った万華鏡作りでは、  
 色づいた落ち葉をちぎって筒  
 に入れ、筒を回すたびに変わ  
 る模様を観賞を上げた。

清野雄也君（6）は「作り物  
 を探すのが、難しかったけど  
 楽しかった。万華鏡はパパと  
 ママにも見せたい」と話した。  
 同管理署は「森のようちえん  
 開催の要望があれば、可能  
 範囲で応えたい」としている。  
 （高野正三）



プログラム① カモフラージュ  
 （生き物の暮らしを考える）

秋田魁新聞 H23.10.24（月）朝刊



プログラム② 目かくしイモ虫  
 （感覚をとぎすます）



プログラム③ 万華鏡で遊ぼう  
 （紅葉した葉や花びらで不思議な模様  
 を楽しむ）